

2023年度 名古屋大学医学部附属病院 初期臨床研修 プログラム

■ 名古屋大学医学部附属病院における研修 ■ 希望により一部協力病院における研修を可能とする研修 ■ 協力病院における研修

プログラム名称		定員数	1年次							2年次						
基本プログラム		8	総合内科 12週間 (必修)	外科 8週間 (必修)	麻酔科 12週間 (必修)	産科 婦人科 4週間 (必修)	専門内科 12週間 (必修)	小児科 4週間 (必修)	協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	救急科・ ICU 4週間 (必修)	総合診療科 (一般外来) 4週間 (必修)	選択科目 36週間			
研究医を目指す人のためのプログラム(仮)※		3	総合内科 12週間 (必修) 一般外来研修4週間を含む	外科 4週間 (必修)	麻酔科 4週間 (必修)	産科 婦人科 4週間 (必修)	専門内科 12週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	救急科・ ICU 4週間 (必修)	小児科 4週間 (必修)	選択科目 4週間	協力施設 地域医療 4週間 (必修) 選択科目 48週間				
ハイブリッドプログラムA		2	総合内科 12週間 (必修)	必修科目 4週間 【外科・産婦人科・小児科】	精神科 4週間 (必修)	麻酔科 12週間 (必修)	救急科・ ICU 4週間 (必修)	専門内科 12週間 (必修)	総合診療科 (一般外来) 4週間 (必修)	協力施設 地域医療 4週間 (必修)	救急科 4週間	必修科目 8週間 【外科・産婦人科・小児科の未修了分】	協力型臨床研修病院 選択科目 36週間			
ハイブリッドプログラムB	津島市民病院コース	1	協力型臨床研修病院 内科 24週間以上 (必修)				救急科 12週間以上 (必修)	外科 12週間以上 (必修)		協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	小児科 4週間 (必修)	産科 婦人科 4週間 (必修)	総合診療科 (一般外来) 4週間 (必修)	選択科目 32週間	
	岐阜県立多治見病院コース	1	内科 20週間以上 (必修)	小児科 4週間以上 (必修)		救急科 12週間以上 (必修)	外科 12週間以上 (必修)		協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	内科 4週間 (必修)	産科 婦人科 4週間 (必修)	選択科目 36週間			
	江南厚生病院コース	1	内科 16週間以上 (必修)	内科(推奨) または 選択科目 8週間以上	救急科 6週間以上 (必修)	麻酔科 6週間(推奨) (4週間必修)	外科 6週間(推奨) (4週間必修)	選択科目 (小児科、産婦人科も選択可) 10週間程度		協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	小児科 4週間 (必修)★	産科 婦人科 4週間 (必修)★	選択科目 36週間 (一年次で内科の研修期間が24週間に満たない場合は、 24週間に達するまでの分の内科研修を必修で行う)		
周産期プログラム	小児科 重点コース	4	総合内科 12週間 (必修)	外科 8週間 (必修)	麻酔科 12週間 (必修)	産科 婦人科 4週間 (必修)	小児科 16週間(必修) うち4週間は協力病院における研修が可能		協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	救急科・ ICU 4週間 (必修)	総合診療科 (一般外来) 4週間 (必修)	周産期 8週間 (必修)	専門内科 12週間 (必修)	選択科目 16週間	
	小児科重点 たすきがけコース								協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	救急科・ ICU 4週間 (必修)	総合診療科 (一般外来) 4週間 (必修)	周産期 8週間 (必修)	専門内科 12週間 (必修)	選択科目 12週間	選択科目 4週間
	産婦人科 重点コース		総合内科 12週間 (必修)	外科 8週間 (必修)	麻酔科 12週間 (必修)	産科婦人科 16週間 (必修)		小児科 4週間 (必修)	協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	救急科・ ICU 4週間 (必修)	総合診療科 (一般外来) 4週間 (必修)	周産期 8週間 (必修)	専門内科 12週間 (必修)	選択科目 16週間	
	産婦人科重点 たすきがけコース								小児科 4週間 (必修)	協力施設 地域医療 4週間 (必修)	精神科 4週間 (必修)	救急科・ ICU 4週間 (必修)	総合診療科 (一般外来) 4週間 (必修)	周産期 8週間 (必修)	専門内科 12週間 (必修)	選択科目 12週間

※2023年4月開設に向けて申請中 ★…小児科、産科婦人科を1年次で選択し研修を行った場合は、選択科目とする。

- ハイブリッドプログラム A** 1年次に大学病院、2年次に以下の協力型臨床研修病院で研修を行う。
 ◎豊田厚生病院 ◎名古屋記念病院 ◎春日井市民病院 ◎名古屋掖済会病院
 ◎大同病院(だいどうクリニック) ◎国家公務員共済組合連合会東海病院
- ハイブリッドプログラム B** 1年次に以下の協力型臨床研修病院、2年次に大学病院で研修を行う。
 ◎津島市民病院 ◎岐阜県立多治見病院 ◎江南厚生病院
- 周産期プログラム** 小児科医または産婦人科医を目指す人のための専門的なプログラムで、小児科、産婦人科についてそれぞれ2つのコースを設けている。両科とも2つのコースの1年次カリキュラムは同じであるが、たすきがけコースを選択した場合、2年次のうち8ヶ月間、協力型臨床研修病院で研修を行う。
- 小児科重点コース** 2年次のうち2ヶ月間、以下の協力型臨床研修病院で小児科研修を行うことができる。
 ◎名古屋掖済会病院 ◎春日井市民病院 ◎中部ろうさい病院 ◎中京病院 ◎豊田厚生病院 ◎名古屋記念病院
 - 小児科重点たすきがけコース** 2年次のうち8ヶ月間、以下の協力型臨床研修病院で研修を行う。
 ◎名古屋記念病院 ◎春日井市民病院
 - 産婦人科重点コース** 2年次のうち2ヶ月間、以下の協力型臨床研修病院で産婦人科研修を行うことができる。
 ◎名古屋掖済会病院 ◎春日井市民病院 ◎中部ろうさい病院 ◎岐阜県立多治見病院
 - 産婦人科重点たすきがけコース** 2年次のうち8ヶ月間、以下の協力型臨床研修病院で研修を行う。
 ◎春日井市民病院 ◎岐阜県立多治見病院

研究医を目指す人のためのプログラム(仮) 研究分野への進路志向の高い方に向けて、基本的臨床能力の習得を目指す研修とともに、配属予定の講座、もしくは出身大学の講座の責任者の推薦のもと、研修カリキュラムに沿って研究に専念する期間が最大48週間選択することが可能なプログラムです。研究医を目指す方に初期臨床研修を諦めてほしくない。もちろん研究も諦めてほしくない。そんな思いから生まれた、名大病院の新しいプログラムです。

- 総合内科研修** 総合診療科病棟で8週間、老年内科病棟で4週間行う。
- 専門内科研修** 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科から4週間単位で選択する。
- 外科研修** 消化器外科で8週間行う。
※東海病院で最大2週間研修を行うことができる。
- 小児科研修** 名大病院または協力型臨床研修病院で行う。ただし、1年次に協力型臨床研修病院で小児科研修を行う場合は、麻酔科研修を事前に終了していることとする。
- 救急外来研修** 2年間の全研修期間を通して行う。
平日：17時15分～翌8時
(ただし、救急外来へは17時に集合)
休日・祝日：8時～翌8時
(ただし、日直と当直が17時に交代)

■ハイブリッドプログラム A とハイブリッドプログラム B を除く各プログラムの選択科目において、原則4週間単位で以下の協力型臨床研修病院での院外研修が可能。なお、院外研修は最大16週間(地域医療研修を含む)までとする。

- 救急医療研修** ◎名古屋掖済会病院 ◎日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 ◎中東遠総合医療センター ◎大同病院
- 外科・整形外科研修** ◎国家公務員共済組合連合会東海病院
- 小児科研修** ◎名古屋掖済会病院 ◎春日井市民病院 ◎中部ろうさい病院 ◎中京病院 ◎豊田厚生病院 ◎名古屋記念病院
- 産婦人科研修** ◎名古屋掖済会病院 ◎春日井市民病院 ◎中部ろうさい病院 ◎岐阜県立多治見病院
- 精神科研修** ◎愛知県医療療育総合センター中央病院